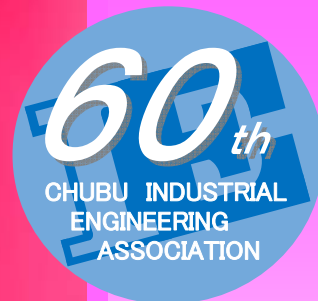


◆ 年間登録メンバー募集のご案内 ◆



2019 年度

# 生産システム研究部会

## リードタイム短縮による競争力強化

～最適なモノづくりシステムの追求～

2019  
6/25

2020  
3/6

1 生産物流研究部会

2 生産システム研究部会

3 モノづくり人材育成研究部会

4 モノづくり競争力研究部会

5 生産現場改善研究部会

6 専クラブ研究部会

### 登録メンバー特典

2019年 9月19日 (木)

生産現場“リーダー力強化”セミナー

# 2019年度 生産システム研究部会

市場ニーズに合わせた生産量の変動に対応するためには、自社に最適な生産システムを構築し、変化への対応力を高めていかなければなりません。そこで、リードタイム短縮を基軸としてフレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例や、IoTを活用して生産性を向上させている事例の研究を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて探究します。

皆様のご参加・ご登録をお待ち申し上げます。

年間テーマ

## リードタイム短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～

第1例会

と き	2019年 6月25日 (火) 13:30~17:00	【主な生産品目】
と ころ	(株)安川電機 安川ソリューションファクトリ (埼玉県入間市)	サーボモータ、サーボアンブ

### 「i<sup>3</sup>-Mechatronicsと一気通貫生産・変種変量生産を追求したスマート工場の構築」

～ 売れるスピードに合わせたモノづくりの実現 ～

(株)安川電機 生産技術部 部長 木谷 文彦 氏

(株)安川電機 安川ソリューションファクトリは、小形のサーボモータ・サーボアンブを生産している。従来の工場に比べて生産スピードを高めながら最小ロット1台からという変種変量生産に対応。それを実現しているのが、「自動化」「見える化・データ活用」である。組立・物流ではロボットやサーボモータ、AGVを駆使して自動化。また、稼働状況の可視化、稼働データのAI分析を行う等により、生産リードタイムは1/6まで短縮した。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第2例会

と き	2019年 8月27日 (火) 13:30~17:00	【主な生産品目】
と ころ	愛知製鋼(株) 鍛造工場 (愛知県東海市)	自動車及び産業機械用の鍛造部品 (クランクシャフト、リングギヤ、トルクギヤ、リアアクスルシャフト)

### 「お客様に信頼される鍛造工場再編に向けた足元固め」

～ 整流化・後補充生産によるリードタイム短縮の取り組み ～

愛知製鋼(株) 生産管理部生産調査室 室長 松尾 達郎 氏

愛知製鋼(株) 鍛造工場は、リングギヤやドリブンギヤなどの自動車部用鍛造品を生産している。同工場は生産開始の1960年代より、生産の拡大で鍛造設備が工場内に広がり、生産設備や置き場の分散などにより物流動線が長くなり、多くの在庫をかかえていた。そこで、“超”乱流していた生産ラインを整流化し、後補充生産による体質強化に取り組み、リードタイム短縮につなげている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第3例会

と き	2019年10月10日 (木) 13:30~17:00	【主な生産品目】
と ころ	オークマ(株) DS2 (愛知県丹羽郡)	旋盤・複合加工機の主要部品 (ベッド、刃物台、主軸など)の加工

### 「工場スマート化による自己完結一貫生産体制の構築」

～ リードタイムの大幅な短縮 ～

オークマ(株) 生産技術部 次長 平手 基 氏

オークマ(株) DS2は、金属部品を加工する旋盤・複合加工機を生産している。同工場は、2017年5月にIoTを駆使したスマートファクトリーを竣工させた。ロボットによる生産ラインの自動化や、機械の稼働状況の監視を導入したシステムを生かし、これまで難しかった24時間の無人稼働を可能にするなど、生産能力・生産性を向上させ、リードタイム短縮につなげている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

■ 当部会の企画・運営におけるご協力をお願いしております。 (順不同)

**運営幹事**

アイシン精機(株)	設備工機部部長	篠田俊哉氏
新東工業(株)	ものづくり本部NPS推進グループマネージャー	藤田智典氏
住友電装(株)	ハーネス生産企画本部GPPC工法開発部部長	仲尾啓氏
ヤマザキマザック(株)	生産本部生産技術部次長	林弘之氏
リンナイ(株)	執行役員生産技術部長	井上一人氏



▲ 写真はグループディスカッション風景  
※ グループディスカッションでは、参加者が小グループに分かれて相互意見交流会を行います。

**基本スケジュール** 13:30~17:00

- ① 会社概要説明・テーマのプレゼンテーション ② 工場(現場)見学  
③ グループディスカッション ④ 発表・質疑応答

第4例会

と き	2019年12月17日(火) 13:30~17:00	【主な生産品目】 排気センサー、排気温センサー (EGTS) 排ガス浄化触媒用基材 (モリス)
と ころ	(株)デンソー 大安製作所 セラミック製造部 (三重県いなべ市)	

## 「リードタイム短縮に拘り 技術と技能で目指すダントツ工場」

～ 環境変化に追従できる従業員総活躍工場 ～

(株)デンソー セラミック製造部 部長 岡本 孝文 氏

(株)デンソー 大安製作所に生産拠点を構えるセラミック製造部では、排ガス浄化や燃費向上に役立つ排気センサー等の環境関連製品を製造している。これまでラインの最適な流し方を追求する中で、リードタイム短縮に拘り、技術と技能の両輪で新工法の開発や生産のしくみづくりを進めてきた。今後、ラインが進化(高速化・高難度化)していく中でも従業員が総活躍できるシンプルなモノづくりを目指している。今回は、これらの具体的な取り組みについてご紹介いただく。

第5例会

と き	2020年 1月24日(金) 13:30~17:00	【主な生産品目】 デフケース・キャリパーなどの自動車部品を主体とする 鋳造・機械加工、塑性加工、音響製品の製造
と ころ	アイシン高丘(株) 本社工場 (愛知県豊田市)	

## 「鋳造から加工まで一貫生産の強みを活かしたモノづくり」

～ 物と情報の停滞をなくしてリードタイム短縮を実現 ～

アイシン高丘(株) 生産調査部 部長 牧野 俊一 氏

アイシン高丘(株) 本社工場は、デフケースなどの鋳物関連製品を生産している。同社では工場再編を行い、工場間物流があった本社工場と吉良工場の物流廃止や、工場内一貫生産体制の構築がなされた。また、仕上げや加工、物流の各部門において物の停滞が発生していたが、整流化・生産性向上に取り組み、物と情報の停滞をなくしていき、リードタイム短縮につなげている。今回は、これらの取り組みについてご紹介いただく。

第6例会

と き	2020年 3月 6日(金) 13:30~17:00	【主な生産品目】 ストレージ、サーバ
と ころ	(株)日立製作所 神奈川事業所 (神奈川県秦野市)	

## 「ストレージ/サーバ製品生産における生産革新」

～ IoT活用によるリードタイム短縮 ～

(株)日立製作所 システム&デバイス統括本部サービス営業推進本部IT-ソリューション担当部長 坂川浩二郎 氏  
(株)日立ICTビジネスサービス プロジェクト&ソリューション本部ハードウェアビジネスサポート部担当部長 山川洋一郎 氏

(株)日立製作所 神奈川事業所は、ストレージなどのITプラットフォーム製品の製造を行なっている。同事業所では、リードタイム短縮、コスト最適化、品質の確保などを目的に、IoTを活用したモノづくりに取り組んでいる。今回は、生産進捗情報を用いた工程間仕掛かり状況のリアルタイムな可視化、ボトルネック工程の分析・改善の実施、AIを活用した検査工程の最適化などの取り組みについてご紹介いただく。

# 開 催 要 領

**参加対象** IE、生産技術、生産管理、製造部門の方 等

## 運営方法

- ①集合場所・時間等の**詳細案内を開催の約1カ月前に登録メンバーへEメールにてご案内**しますので、都度、ご出欠をご返信ください。なお、同じ組織であれば、登録者以外(代理)の参加も可能です。
- ②各例会とも指定の集合場所・時間に**各自でご集合下さい。** **現地集合・現地解散**
- ③**視察先の都合により、同業者の方々のご参加をお断りする場合があります。**  
その際は、他の例会への振替参加(+1名)をご案内いたします。  
**止むを得ない理由により、開催日時の変更が発生する場合があります**のでご了承願います。
- ④各例会とも、**録音・写真撮影はご遠慮願います。**
- ⑤年間の運営ガイダンスは第1例会の際に行います。

## 年間登録費

中部IE協会会員	84,240円	〔1名につき、 資料代・消費税8%を含む〕
一般	122,040円	

- ①年間登録費については、申込受付の後、請求書を送付させていただきますので、**6月24日(月)**迄に下記の指定銀行へお振り込み願います。  
なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますので、ご了承願います。
- ②年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義：中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店 普通 No. 1602917	名古屋銀行上前津支店 当座 No. 3116141
愛知銀行本店営業部 当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店 当座 No. 494070
中京銀行本店営業部 当座 No. 112438	

- ③**6月18日(火)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねます。  
(ご登録者の変更をお願いいたします)

## 申込締切日

**2019年6月18日(火)**

登録申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は 郵送にてご送付願います。  
(締切日を過ぎる場合は予めご連絡下さい)

## メンバー特典

当研究部会の登録特典として、1名に限り、下記のセミナーへ**会員価格の半額**でご参加いただけます。  
詳細は、個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

**2019年 9月19日(木) 生産現場“リーダー力強化”セミナー(28,080円→14,040円 消費税含む)**

### ※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。  
なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。  
参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込まれますようお願いいたします。
2. お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問い合わせ窓口 担当:齋藤・岩本 TEL052-221-1261】

## お申込み・問合わせ先

### 中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)  
TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265  
<https://www.cpc.or.jp> 担当:堤・永井・鬼頭

●中部IE協会 ホームページからもお申し込みいただけます!

中部IE協会

検索

2019. 3. 20

## 2019年度 生産システム研究部会 [第2部会] 登録申込書

&lt;フリガナ&gt;

会社名

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書の送付は不要です。)

1	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
2	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
3	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
4	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				

※ E-mail にて例会案内をお送りいたしますので必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

 請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み 請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日( )]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(84,240円・122,040円) [消費税含む] × □ = 円

(事務局記入)

請求

No.202019

第1部会

### 生産物流研究部会

#### 全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会

### 生産システム研究部会

#### リードタイム短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

### モノづくり人材育成研究部会

#### 日本のモノづくりを支える人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

### モノづくり競争力研究部会

#### 新たなモノづくりへのチャレンジ！ ～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質について考察する。

第5部会

### 生産現場改善研究部会

#### たゆまぬ改善活動による現場力強化 ～知恵は無限、改善は永遠～

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

### 葦クラブ研究部会

#### 挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。